議会だより

おかがき

No.102　3月定例会　平成27年4月25日発行

地方創生に取り組む ● 2～4
平成27年度一般会計予算　総額96億1700万円
町政を問う ● 8～10
一般質問

定例会 3月 概要版

平成27年度一般会計・各特別会計予算可決

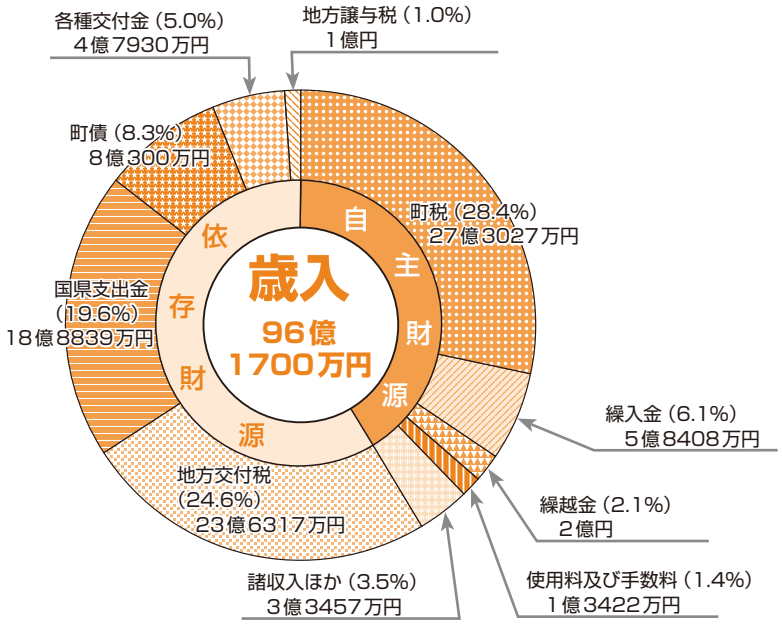
地方創生に取り組む

一般会計予算96億1700万円（前年度比2.2％減）

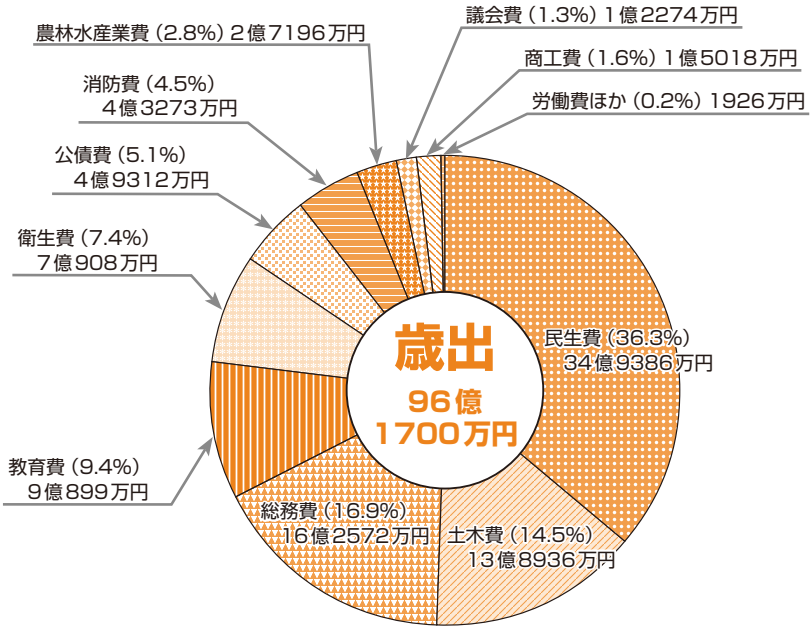
第1回定例会を3月2日から3月18日までの日程で開催し、平成27年度一般会計予算を含む議案30件、発議1件などについて慎重審議しました。

【一般会計予算の内訳】

歳入（財源）



歳出（使い道）



▼一般会計予算とは
町の基本的な行政運営を行うための経費を中心に計上した会計のこと。

▼特別会計予算とは
国民健康保険事業のように法律で義務づけられた会計のほか、水道事業などの地方公営企業の経理を明確にするための会計のこと。

▼地方交付税とは
市町村が一定の行政水準を確保できるように国税の5税（酒税・消費税・たばこ税・所得税・法人税）の一定割合を一定基準により国が市町村に対して交付するお金のこと。使い道は制限されず、一般財源として使用。

▼町債とは
町が事業を行うために国や金融機関などから借りるお金のこと。

▼公債費とは
町債などを返済するお金のこと。

【会計別予算額】

		平成27年度当初予算	平成26年度当初予算	前年比
一般会計		96億1700万円	98億3600万円	97.8%
特別会計	国民健康保険	45億7416万円	40億7366万円	112.3%
	後期高齢者医療	5億5493万円	5億1379万円	108.0%
	住宅新築資金	79万円	80万円	98.8%
公営	水道事業	5億1024万円	5億8302万円	87.5%
	下水道事業	9億6183万円	9億8087万円	98.1%
合計		162億1895万円	159億8814万円	101.4%

＊公営企業会計は収益的支出の額

平成27年度歳出予算の特色

総務費

①防犯灯整備事業　1404万円
②岡垣交番移転事業　1555万円
③定住促進対策事業費　2396万円
④サンリーアイ施設管理運営経費（施設大規模改修費含む）　3億3249万円
⑤情報プラザ施設管理運営費　4502万円

民生費

①社会福祉協議会補助金　3865万円
②認知症施策推進事業　117万円
③自立支援サービス事業　4億2200万円
④いこいの里施設管理運営費　6588万円
⑤介護保険事業（福岡県介護保険広域連合負担金等）　4億2956万円
⑥臨時福祉給付金支給事業　4985万円
⑦子ども医療事業費　1億1230万円
⑧児童手当支給事業費　5億3273万円

衛生費

①感染症予防事業（高齢者インフルエンザ予防接種）　2574万円
②乳幼児等感染症予防事業　5314万円
③地球温暖化対策事業　771万円
④母子健康づくり支援事業　2810万円
⑤各種検診事業（がん検診・特定健診・特定保健指導等）　2422万円

労働費

①緊急雇用創出事業（建設技術継承者育成事業委託等）　721万円

農林水産業費

①就農支援事業　1080万円
②荒廃森林再生事業　504万円
③森林保全対策事業（町有林整備委託等）　597万円

商工費

①中小企業対策事業　5250万円
②観光ステーション北斗七星管理運営事業　595万円
③観光協会補助金　2278万円
④消費生活対策事業　222万円

土木費

①町道改良事業　1億3744万円
②橋梁維持改良事業　5359万円
③排水路整備事業　4389万円
④JR海老津駅南側道路等整備事業費　4億3048万円
⑤公共交通体系整備事業　6581万円

消防費

①消防車両整備事業　2332万円
②移動系無線整備事業　1752万円
③消防・防災一般事業（自主防災組織育成補助金等）　661万円

教育費

①私立幼稚園就園奨励金　9928万円
②小学校施設整備事業　4282万円
③中学校施設整備事業　1億1736万円
④自治公民館活動支援事業　629万円

■当初予算審議状況（連合審査会）

議員からの主な質疑内容

○施政方針について
・平成27年度まちづくりの姿勢
・地方創生総合戦略
・町政運営
・地方交付税交付金
・固定資産税
・臨時財政対策債

○総務費
・定住促進事業
・地域情報伝達無線システム整備事業
・防災無線

○民生費
・「食」の自立支援事業
・民生委員
・国民健康保険事業への繰出金
・児童発達支援事業
・成年後見制度利用支援事業
・予算減の内容

○労働費
・緊急雇用創出事業

○教育費
・就学援助費（小、中学校）
・小学校の統廃合
・総合教育会議
・類似公民館補助金の拡充
・社会教育主事

○農林水産業費
・中山間地域等直接支払交付金事業
・多面的機能支払交付金事業
・新規就農者育成支援事業
・ビワ栽培研修事業
・町民農園の管理

○商工費
・企業誘致の状況
・中心市街地活性化事業委託
・観光協会補助金

○土木費
・ＪＲ海老津駅南側道路等整備事業
（自由通路の進捗）
・橋梁維持補修工事
・排水路改良工事
・委託料
（道路維持費、道路改良費、町道のり面等）

○消防費
・自主防災組織育成補助金
・防災士の現状

○公債費
・借り換え
・基金の運用

■全員協議会の議題

①組織機構の見直し
②住宅用地等開発支援策
③社会保障・税番号（マイナンバー）制度
④介護保険制度の改正
⑤岡垣町高齢者福祉計画の策定
⑥岡垣町障害福祉計画の策定
⑦岡垣町子ども・子育て支援事業計画の策定
⑧岡垣コミュニティバスふれあい運行事業者の決定及びダイヤ改正
⑨おんが創業支援協議会の設立に関する協定の締結

岡垣町イメージキャラクター
ひわりん＆ひわすけ

議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内　　容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	横山 貴子	中村 好伸	広渡 輝男	平山 弘	神崎 宣昭	小野 元次	曽宮 良壽	西 美千代	太田 強	下川路 勲	欠員	欠員
岡垣町課設置条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町行政手続条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	3/4	賛成多数可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町の単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	3/4	賛成多数可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
公民館類似施設の新築、増改築並びにその用地取得に対する補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町保育の必要性の認定に関する条例の制定について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町保育所設置条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成26年度　岡垣町一般会計補正予算（第5号）	3/4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成26年度　岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	3/4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成26年度　岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	3/4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成26年度　岡垣町水道事業会計補正予算（第1号）	3/4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成26年度　岡垣町下水道事業会計補正予算（第1号）	3/4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成27年度　岡垣町一般会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	—	—
平成27年度　岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成27年度　岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	3/18	賛成多数可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	—
平成27年度　岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成27年度　岡垣町水道事業会計予算	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成27年度　岡垣町下水道事業会計予算	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町道路線の認定について	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
平成26年度　岡垣町一般会計補正予算（第6号）	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
岡垣町議会委員会条例の一部を改正する条例	3/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—

垣町一般会計予算

反対

平山　弘　議員

妊婦検診、ワクチン接種継続、子どもの医療費助成制度の実施などは評価できるが、さらなる拡充を求める。

介護保険料は来年度から基準額で23・5％も引き上げられ、高齢者の暮らしを壊しかねない。国の介護報酬も2・27％引き下げられ、介護事業所、施設では利用者へのサービスの低下、労働条件の低下にもつながりかねない。

就学援助でも、全国96％の自治体で、郡内では水巻町と遠賀町はこれまでの就学援助対象者に、生活保護世帯の生活費の削減で影響が出ないように善処している。子どもの貧困、教育の機会均等の観点からも善処されるよう求め反対する。

西　美千代　議員

今回の予算で、障害児通所支援事業を実施している町内民間施設の児童発達支援センターへの移行支援により、発達の遅れや偏りの疑いのある幼児、その保護者に対し相談が充実される。地域福祉施策等の充実により、子ども、高齢者、障がい者が安心してこの岡垣町で暮らしていくための施策が進んでいることは大いに評価をする。

しかし、昨年から自由通路の工事が町民に具体的に姿を見せてきた中で今さら計画を見直すとはならない状況であることは十分承知しているが、少しでも町民に不安のあるものはつくるべきでないとの強い思いから、この一般会計予算については反対する。

賛成

小野　元次　議員

地方創生に向けて地方自治体がどのように交付金を活用するか。国の長期ビジョンを踏まえて、地方側がどのような地域ビジョンを描くかという地方創生総合戦略の策定へ大きな課題を課せられた一般会計96億1千7百万円の予算である。

内容は、岡垣町の恵まれた自然環境の保全、社会的人口構造の減少に対応する定住政策の推進、高齢者福祉の充実基盤となる岡垣版地域包括ケアシステムの構築、子ども達が健全で心豊かに育つ学校・社会教育の充実、安全で安心な暮らしへの支援と防災・生活環境を守るため地域住民ネットワークづくりの推進等を掲げており賛成する。

太田　強　議員

安倍内閣の目玉である地方創生への取り組みが全国の地方自治体で一斉に動きだす年度である。

町長は施政方針の中で、第5次総合計画前期基本計画の最終年度として総仕上げの年であると結び、今までの取り組みの成果を踏まえ、より着実にスピード感を持って取り組むことを決意しておられる。

企業誘致、観光ステーション北斗七星へのてこ入れ、高齢者福祉の面での地域包括支援センターの機能強化、こども未来館の組織の見直し、中部保育所の開設時間の延長等、積極的な施策に対する予算の執行に期待し賛成する。

平成27年度　岡垣

神崎　宣昭　議員

将来にわたり魅力的で活力ある元気なまちづくりの取り組みとして、

1　豊かな自然を愛し、環境と共存するまちづくり。

2　地の恵み・地の利を活かした活力ある産業の振興。

3　みんなが安心で快適に暮らせるまちづくり。

4　子どもたちが安心して学び、心豊かに育つまちづくり

など、多岐にわたり決め細やかに予算が組まれている。

また、地方創生の取り組み、「地方版総合戦略」の策定とあわせて「第5次総合計画前期基本計画」の最終年度の仕上げの年で、今までの取り組みと結果をより着実にスピーディーに行われることを期待し賛成する。

横山　貴子　議員

本予算には、定住人口の増、交流人口の増に向けた取り組みの事業、町の発展性を願う元気なまち岡垣構築に向けた事業が確実に組まれた予算編成になっていると評価する。

本年度は、第5次総合計画後期基本計画の策定の年である。加えて、国が進める地方創生が動き出し、町は今後5年間の「岡垣版総合戦略」の策定の年でもあり、町の今後を示していく重要な年である。

今後も国の動向に注視し、行財政運営に努めていただき、町の将来像実現に向けて全力で取り組んでいただくことを要望するとともに、着実に事業が執行されることを期待し賛成討論とする。

下川路　勲　議員

観光ステーション北斗七星の充実、情報プラザ人の駅のブックカフェ設置、子育て家庭への支援の予算、こども未来課の組織機構の見直しなど、きめ細かな予算組みがなされている。

また、保育所の開所時間の延長や待機児童の解消に向けた取り組みにも予算が組まれており、より一層、男女雇用機会の均等化の推進も期待される。

また、国の地方創生に沿った今の時代にかなった予算である。

駅南側開発ついては、膨大な費用、費用対効果に疑問を抱きつつ、賛成する。

広渡　輝男　議員

一般会計予算は、歳入歳出予算96億1千7百万円である。主要な財源である町税は減少傾向を続けているが、少子高齢化対策、産業振興、駅前の再開発などの予算が計上されており評価する。

一方、JR海老津駅南側道路等整備事業の海老津駅が直接利用できない上に莫大な事業費を要する自由通路には、一貫して反対してきた。しかし、平成27年度で本計画の97％に達する見込みから、今後は駅南側道路等の効果的な活用を促進することが、岡垣版地方創生総合戦略（子育て支援、企業・研究施設等の誘致）の実現化と将来展望が見えてくると考え一般会計予算に賛成する。

小野

地方創生交付金の使途は

町長　岡垣版総合戦略の策定に

小野　元次 議員

小野　政府は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の経済対策で景気回復・デフレ不況脱却を進めてきました。このたびの地方の景気低迷を脱する政策「成長戦略 地方創生」の交付金の使途についてお尋ねします。

町長　地方創生に向けて2種類の交付金があり、一つは、地域住民生活等緊急支援のための交付金で、この交付金はさらに地域消費喚起・生活支援型と地方創生先行型に分かれています。岡垣町には地域消費喚起・生活支援型が約5千2百万円、地方創生先行型が約3千7百万円配分決定されています。

もう一つは、地方自治体が策定する5ヶ年の地方版総合戦略に掲げる施策を実現支援する交付金で、平成28年度以降の予算措置となります。

小野　岡垣町の活用方法をお尋ねします。

町長　地域消費喚起・生活支援型の交付金は、商工会が発行するプレミアム商品券の拡充に活用し、地方創生先行型は、地方版総合戦略の策定事業に充てるほか、町が取り組む定住促進や子育て支援事業などの交付金の趣旨に沿った事業に充てます。

岡垣版地方創生に向けて

小野　遠賀郡4町で連携した活用方法をお尋ねします。

町長　郡内での連携は、各町が同様の施策を掲げれば可能と考えます。関連した取り組みとして地方創生の主要な課題である雇用創出を目的に郡内4町、各商工会や金融機関と連携した協議会を設立し、協議が始まったところです。

太田

海老津駅周辺の開発計画は

町長　地権者の意向調査を進める

太田　強 議員

太田　海老津駅南側道路整備事業が完了に近づいていますが次は駅周辺の整備、開発が必要ではないでしょうか。

町長　次の課題は、駅南側の自然環境にやさしい企業や教育・研究施設などの誘致及び宅地開発の推進と駅前の中心市街地の再開発であると認識しています。

太田　今後の考えは。

町長　現在、線路北側の土地については民間事業者による住宅用地開発に向け既に取り組みを進めています。このエリアの開発に見通しが立てば、線路南側の開発可能エリアについて地権者の意向調査を進める考えです。また、中心市街地活性化の取り組みについては、昨年から今年にかけ、地権者等へのアンケートや説明会を行い、対象地域の現地測量を行うなど、分析・検討を行いました。現在は次の段階に向け、町と商工会の双方で具体的取り組みを検討しています。

太田　都市計画道路海老津・源十郎線の整備は駅南側道路整備とあわせて進めるべきと考えます。既に測量も始まっていると伺っていますが、その進捗状況はどのようになっていますか。また、対象となる地域の方々の不安の声もあります。町としてどの程度かかわりがもてますか。

駅前の中心市街地

町長　都市計画道路海老津・源十郎線は、県道原海老津線バイパスとして、県事業により整備されます。本年度は地形測量や地質調査を実施した後、詳細設計を進め、来年度に再度地元説明会が行われる予定です。町も同席して、地域住民の安心安全にかかわっていきます。

曽宮

町の伸び代について認識を問う

町長　測るに人口にあり

曽宮　良壽 議員

曽宮　町の発展性・成長性について町長の認識を伺います。

町長　一般的に自治体の発展を測るのは、人口の推移ではないかと考えます。その意味では本町の人口はここ数年横ばいから減少傾向にあって、大きく伸びる時代は過ぎて、成熟期に移行しつつあると考えます。

曽宮　どのような取り組みをして行きますか。

町長　本町は両政令指定都市を結ぶ鹿児島本線沿いにある地理的条件から、さらに発展する可能性を持っており、現在、海老津駅周辺の開発を進めていますが、都市基盤の整備のほか、計画的な土地利用を進めることも必要です。また、少子化対策の取り組み、さらにはアンケート等をもとに定住志向が高まるよう取り組みを進めます。

曽宮　行政組織と行政職員の伸び代についてはどのように考えますか。

町長　公的な研修では、人材育成基本方針に沿って、計画的に年度ごとにテーマを絞って行っています。基本研修は職員全員、個別・専門的研修は県の研修所で希望する職員が参加できるよう調整しています。また近年、職員の自主研修の職場風土が定着しつつあり、町もこれを助成しながら、職員の能力向上に期待しています。

今後も職員が自主的に研修に取り組み、学ぶことが定着し引き継がれることで、職員、行政の伸び代はあると考えます。

平山

地方創生とは

町長　地域課題の解決を目指すもの

平山　弘 議員

平山　消費税増税と円安による物価高、医療・介護の高い保険料と国庫負担の削減、低賃金と不安定雇用、輸入自由化など大企業優先の政治が地域経済を破壊してきました。安倍政権が進める地方創生とはどういう内容ですか。

町長　地方創生の背景は、人口減少問題であり、国は2060年に1億人程度の人口を維持するための総合戦略をとりまとめました。その視点は、東京一極集中の是正、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現など、地域課題の解決を目指すものです。

平山　介護報酬の引き下げは、特別養護老人ホームや小規模事業所などの経営を困難にし、介護サービスや介護職員の労働条件が悪くなりませんか。

町長　今回の改定は、施設の内部留保の増加をふまえたもので、やむを得ないと思いますが、介護職員の処遇改善や利用者の負担軽減など総合的な調整を図ったものであると考えています。

平山　介護保険料が26・3％も引き上げられました。住民税非課税の人には負担が大きいのではないですか。

町長　引き上げ要因は介護給付費の増加ですが、ご理解をいただきたいと考えています。高齢者の健康保持と介護給付費の抑制を図るため、健康づくりや介護予防に一層力を入れていきます。

平山　生活保護基準の見直しにより就学援助費が受け取れない状況が生じています。国が方針を示したように、以前の水準で援助できませんか。

町長　この制度は、国が統一した基準で実施すべきことで、自治体が個別に対応すべきことではなく、是正する考えはありません。

地域包括支援センター

広渡

岡垣町版総合戦略の取り組みを

町長

地域特性を考えて

広渡　輝男 議員

広渡　地方の閉塞感が漂う中、地方創生へ向けて「国の総合戦略の政策目標・施策の策定」のアウトラインが示され、岡垣町においても「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定が、平成27年度中に求められています。

今なぜ地方創生なのか、その認識と対応を尋ねます。

町長　本町に限らず、すでに多くの地方自治体が人口減少をまちづくりの大きな課題として捉えています。今後、国による総合的な取り組みと地方への手厚い支援を背景に、「まち・ひと・しごと創生」に努めていきます。

広渡　国は、地方創生のベースとなる2060年の「人口ビジョン」の推計の考え方を示していますが、全国一律の「金太郎飴」ではない岡垣町の地域特性を生かした「人口ビジョン」をお尋ねします。

町長　まずは人口の現状分析を行い、総人口や年齢構成の変化率などから、その要因を分析し将来推計を行います。その人口の変化が地域の将来へ与える影響を分析・考察し今後の課題を把握していきます。

広渡　「地方版総合戦略」の根幹は、合計特殊出生率をいかにアップさせ、人口減少に歯止めをかけるかということであるため、子育て、仕事、定住と魅力あるまちづくりを進めることが重要です。

そこで「岡垣町版総合戦略」の策定方針をお尋ねします。

町長　仕事づくり、人の流れ、結婚・出産・子育て、まちづくりの4分野のほか、地域特性に配慮した構成と基本目標を掲げ、基本方向として設定していきます。

議会の動き

12月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議　題
12月26日	議会広報	議会だより編集
1月 9日	議会広報	議会だより編集
1月21日	文教厚生	閉会中の継続調査
1月23日	総務産業	閉会中の継続調査
1月28日	研修会	町村議会議員研修会
2月10日	総務産業	閉会中の継続調査
2月19日	議会運営	第1回定例会
3月 2日	本会議	3月定例議会開会 上程・委員会付託
3月 2日	議会運営	追加議案
3月 2日	議会広報	議会だより編集
3月 3日	総務産業	付託案件審査
3月 4日	連合審査会	付託案件審査
3月 4日	本会議	議決・追加議案上程
3月 5日	本会議	一般質問5人
3月 6日	総務産業	付託案件審査
3月 9日	文教厚生	付託案件審査
3月10日	全員協議会	組織機構の見直しほか
3月11日	連合審査会	付託案件審査
3月12日	連合審査会	付託案件審査
3月13日	連合審査会	付託案件審査
3月17日	総務産業	付託案件審査
3月18日	議会運営	委員会条例の一部改正
3月18日	本会議	議決・発議
3月18日	議会広報	議会だより編集

委員会活動レポート

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は教育問題、福祉問題、環境問題を閉会中の継続調査としています。

1月21日の委員会では

1、福祉問題について

地域包括支援センターの業務内容と社会福祉協議会との連携について説明を受けました。

2、環境問題について

ごみの不法投棄の現状と現場確認のため視察を行いました。

また、三里松原海岸保全に関し、現地視察を行いました。

不法投棄の現場

海岸侵食の現場

議員研修会

1月28日に、福岡県町村議会議長会主催の議員研修会がパピヨン24ガスホールにおいて次の内容で行われました。

演題「最近の朝鮮半島情勢と日本」

講師　辺　真一氏

演題「歴史に学び未来を読む

坂本龍馬と龍馬をめぐる人々」

講師　加来　耕三氏

研修風景

岡垣町のここはどこ？

この寺は約400年前に来空上人休雲和尚によって開興された。波津港の目の前に伽藍を構え本堂横の狭い路地を登って行くと納骨堂がある。

ここから見る港や玄界灘の景色は絶景であり、海岸では多くのサーファーたちが波乗りを楽しんでいる。

境内には日本でも有数の大きさを誇る大ソテツがあり、岡垣町天然記念物に指定されている。幹は極めて大きく、分かれた幹も数多く広がり、品位、風格ともに実に見事である。樹齢は約350年とも言われており幹周りは3.35mにもなる。

101号の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、内浦区にある**海蔵寺**でした。

会議録を閲覧してみませんか

岡垣町議会 会議録検索システム

◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。

◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。（詳しくは議会事務局まで）

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は

6月5日㈮

開会の予定

永年にわたる議員活動が認められ、功労者表彰を受けられました。

・全国町村議会議長会表彰

・福岡県町村議会議長会表彰

市津　広海　議員

議会事務局職員が替わりました

平成27年4月1日の人事異動に伴い、水上明美書記が福祉課へ異動し、新たに牟田愛子書記を迎えることとなりました。

牟田書記　本田局長　廣渡係長

編集後記

神崎　宣昭

私は、緑あふれる自然豊かなこの岡垣町が大好きで、幼い頃から誇りをもって生きてきた。

この素晴らしい自然とそこに住む人々の地道な努力によって発展を遂げてきたふるさと岡垣をさらに魅力あふれる町にして、自信をもって後世に譲り渡して行くことが現代を生きる私たちの責務だと強く思っている。

しかし、幼い頃から見続けてきたふるさと岡垣の大自然がこの半世紀の間にすっかりさま変わりして危機的状況に陥っている。深い緑に覆われていた山々は竹林の繁殖で黄緑色に染まり、白砂青松の三里松原の海岸線は侵食され砂浜がなく、緑豊かなクロマツの林は枯れて切り倒され、地肌まで見えるありさま。

守ろう自然を！

2年間このメンバーで議会だよりを編集してきました。ご愛読ありがとうございました。

発行責任者

議長　市津　広海

議会広報特別委員会

副委員長　神崎　宣昭

委員　横山　貴子

委員　小野　元次

委員　曽宮　良壽

委員　西　美千代

発行／岡垣町議会　議長 市津　広海　編集／議会広報特別委員会　〒811-4233 福岡県遠賀郡岡垣町野間1丁目1番1号　TEL(093)282-1211　FAX(093)282-7732

表紙への想い　エイサー！　躍動する若者（春まつり）